

2022年 NPO法人トゥマンハティふくおかは
活動20周年を迎えることができました

【活動の三本柱】

多文化共生の推進

国や宗教の差別なく暮らせる福岡へ
国際社会に開かれたまちづくりの推進

- 多文化共生
- ムスリム対応を含むインバウンド支援

国際協力

インドネシアの課題を解決するための支援

- 教育支援
- 被災地支援

国際交流

日本人・インドネシア人の交流機会の創出

- どんたくパレード
- アンクルンチーム
- 料理教室 など

2019年度九州地域NGO活動助成金事業

職業性ストレス簡易調査票（57項目）多言語化事業

外国人の技能実習生が増え、日本経済を支える新たな担い手として大きな活躍が期待されています。今後は外国人労働者に対してもメンタルヘルスが求められる時代が訪れることから、いち早く、7か国のストレスチェック翻訳（ベンガル語、インドネシア語、クメール語、ビルマ語、ネパール語、タイ語、タガログ語）を無償で公開しました。

※Web サイト立ち上げ時はインドネシア語などの翻訳はなかったが、現在では、厚労省が英語、ペルシャ、中国、スペイン、タガログ、ポルトガル、ミャンマー、インドネシア、ベトナム語の翻訳がアップされています。

しかしタイ語やクメール(カンボジア) 語などの言語についてはまだ翻訳されておらず、これら言語のダウンロード数は多い。



(2021年7月1日～2022年7月25日)

ページビュー	3775
言語別ページビュー	インドネシア 509、タガログ (フィリピン) 332、タイ 244、ビルマ(ミャンマー)222、クメール(カンボジア)187、ベンガル 134、ネパール 134
ダウンロード報告件数	16件 (ご報告いただいた件数のみ ※報告は任意)

福岡アジア都市研究所 2017年度市民研究員

「ムスリムの人も気軽に訪れ、 ともに暮らせる街づくりに向けた研究」発表

福岡市におけるハラル推進を阻む原因を研究し、どうすればもっとイスラム教を信仰する人々が福岡市で暮らしやすくなるのか、街づくりのアイデアを福岡市に提言しました。



JICA海外協力隊まつり in FUKUOKA 2022

インドネシアの竹楽器 「アングルン」演奏

技能実習生3名がメンバーに加わり、3曲演奏。



2021年度西南学院大学女子同窓生支援事業

外国人と仲良く暮らすための多文化共生ワー クショップ～インドネシア編

- カードゲーム
- やさしい日本語のコツ
- 「多文化共生ってなんだろう？」ワークショップ
- インドネシアの基礎知識

外国人と仲良く共に暮らせる社会になるために、お互いを理解することの大切さやコミュニケーションの重要性を学びました。

協力：公益財団法人福岡よかトピア国際交流財団、JICA九州

